



わたしたちと環境(かんきょう)

海や川の水が蒸発(じょうはつ)し、
雲となり、雨や雪を降(ふ)らせる。

動物のフンや落ち葉は土になり、
植物の肥料(ひりょう)となる。

植物は、日光、水、土、空気などの
はたらきによって、花や実をつけ、
動物やわたしたち人間の食べ物となる。

山や地面に降った雨は、
植物や動物に水をあたえ、
川や地下水になり、
海へ流れる。

太陽は、植物や動物に
光と熱をあたえる。

わたしたち人間は、植物や
動物を食べて生きている。

人間もふくめ地球上のあらゆる生物は、太陽、空気、水、土などの自然と深いつながりをもって生きています。きれいな空気や海・川をとりもどし、緑を守り、育てるなど、自然と生物の

バランスのとれた環境(かんきょう)をつくりだしていくことが大切です。

地球に人類が誕生(たんじょう)して数百万年。この長い時間、人間は地球の自然とともに生きてきました。豊か

な自然があったからこそ人間は生きてこられたのです。しかし、人間が資源(しげん)やエネルギーをたくさん使う生活をするようになった、わずかの200年の間に、地球の環境は悪くなっ

てきています。今、かけがえのない地球を守り、よりよい環境を未来に残すために何ができるか、考えてみましょう。